

# 高、ぶ、ま



No. **103**

◆ 発行日 ◆  
令和5年3月1日(水)



## 卒業に寄せて

PTA会長 川村 健

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございませす。また、保護者の皆様におかれましては、心からお祝い申し上げます。

生徒の皆さんは、大湊高校の三年間で多くの先生や友人と出会い、立派に成長することができたと思います。毎日の授業や部活動、大高祭、体育祭、球技大会、耐久遠足、大きな行事を経験し、学び得たことは人生の財産です。

これから皆さんは、進学や就職、自分の信じる道を夢に向かって進んでいくこととなりますが、目標を掲げ、失敗を恐れず挑戦し、多くのことを学び経験することで更なる成長ができると思います。最後になりますが、校長先生をはじめ、諸先生方におかれましては、二年間子どもたちのため日々ご指導して頂き、厚くお礼申し上げます。そして保護者の皆様、PTA会員の皆様、ご協力頂き感謝申し上げます。

卒業生の皆さんのこれからの活躍と皆様方のご多幸を祈念しお祝いの言葉とさせて頂きます。本当にありがとうございました。



高P連下北むつ地区協議会  
第1回研修会(令和4年11月2日)



PTA役員会(令和4年4月16日)



## 手を放して目を離さず

校長 千葉 栄美

二十歳を過ぎた頃、ふと母に「私をどうやって育てたか」を聞いたことがあります。その時の答えが「手を放して目を離さなかった」でした。確かに、三人兄弟の真ん中で、割と手のかからなかった私は、親に厳しくアレコレ言われた記憶はありません。自由に様々なことをしていた気がします。それでも不思議と都合の悪いことはバレていましたし、道を踏み外しそうになった時は本気で怒られました。母はやはり「見ていた」のだと思います。

教員になった私はこの言葉を大切にしてきました。生徒は様々な失敗をします。未熟な行動も多いです。その一つ一つを先回って防ぐことはできません。またすべきではないのだと思います。「学校」という失敗が許される空間の中で、自分で考えやってみて、失敗して沢山学んでくれればいいと思っています。大切なことは「見ていてあげること」なのだと思います。きちんと見ていければ、手を差し伸べるタイミングも、認めて褒めるタイミングもわかります。でもこれが実に難しいのです。だからこそ複数の目が必要なのだと思います。HR担任の目、教科担任の目、部活動の顧問の目、様々な目で一人ひとりを見て、そして情報を共有していきたいと思っています。

今年度は一・二年次の先生方に二者面談をお願いしました。従来の生徒、保護者、教員の三者面談ではなく、保護者と教員だけの面談を全員としてもらいました。教員は「親から見た目」を知ることと多くのことを学んだようです。一人一人の生徒が当たり前ですが、それぞれの家で大切な子供だということも「親の目」を通じて実感したようです。「楽しかった」「話が弾んだ」「勉強になった」若い先生方が話していました。沢山の目で生徒を見つめ、お互いに情報を共有し、のびのびと生徒を育てる。そんな学校でありたいと思います。今年度の学校活動への御理解御協力、本当にありがとうございました。

## 卒業によせて

三年次委員長 玉谷 一徳

卒業の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

大湊高校に入学してからの三年間、沢山の事を学び、経験してきたと思います。高校三年間で得た経験や友達は、この先の人生で財産になるものと思います。

これから皆さんはそれぞれの進路に向かって進んで行きます。これから先には色々な出来事が待っています。失敗を恐れず、何事もチャレンジをして、豊かな人生を築いてほしいと思います。

最後にご指導下さいました校長先生をはじめ各先生方、学校関係者の皆様に、心より感謝を申し上げますと共に、卒業生の皆さんのこれからの益々のご活躍を祈念いたします、お祝いの言葉とさせていただきます。

ご卒業本当におめでとうございます。



## 「自信」

一年次委員長 種澤 博之

大湊高校を卒業する三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

入学当時を振り返ると、コロナ感染症が騒がれ、瞬く間に全国に感染が広がる事態となりました。感染症対策の一つで「密の回避」と様々な行動に制限が掛かり、各行事が延期、中止を余儀なくされました。ある高校野球の監督の言葉で「青春は密」。授業、部活、行事全てにおいて生徒全員「密」で成り立つものです。この制限、苦難を乗り越えて卒業を迎えられたのは、皆さんの努力の賜物だと思います。四月には進学、就職と新しいスタートを切りますが、努力してきた事は裏切りません。自信を持って進み、素晴らしい人生にしてください。

最後に、大湊高校関係者各位におかれましては、日頃よりご尽力いただき心よりお礼申し上げます。皆様方の益々の発展と、ご健勝、ご多幸、そして卒業生、在校生の益々のご活躍を祈願いたします。お祝いの言葉とさせていただきます。ご卒業、おめでとうございます。

## 笑顔力

一年次委員長 秋田 智人

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、心からお祝い申し上げます。

三年生の皆さんは、四月からそれぞれ新しい道に進んで行くことになります。

私から三年生の皆さんへ、次の言葉を贈りたいと思います。

### 「笑顔力」

- 一、笑顔は元手がいらすしかも利息は莫大です
- 二、笑顔は与えても減らず、与えられたものは豊かになります
- 三、笑顔は一瞬だけ見せても、その記憶が永遠に続くことがあります
- 四、どんなに裕福でも笑顔無しでは暮らせず、貧しくても笑顔によって豊かになります
- 五、笑顔は買うことも、強要することも盗むことも出来ません

希望ある将来へ突き進むため、これからの人生を素晴らしいものにするために、笑顔の力で輝かしい未来へ羽ばたいてください。ご卒業誠におめでとうございます。



P T A 入会式 (令和4年4月7日)



1年次修学旅行説明会 (令和4年6月29日)



P T A 総会 (令和4年4月16日)

7月



## 課題研究発表会

7月20日、3年次による課題研究発表会が行われました。3年間の集大成として堂々と発表していた姿に感動しました。1, 2年次生も真剣に耳を傾けて、これからの課題研究の参考にしていました。



## ベンチプロジェクト

7月22日、青森県立むつ高等技術専門校で「大湊高校にベンチを作るプロジェクト」としてベンチを作りました。現在、そのベンチは生徒玄関などで有効活用しています。



## 体験入学

7月28日、中学生を招いて体験入学が行われました。今年、生徒の実行委員会を結成し、生徒主体の体験入学となりました。



※今年度の「いぶき」で掲載されなかった行事を紹介します。

8月



### 大湊ねぶた 清掃ボランティア

8月8日、3年ぶりに開催された大湊ねぶたの祭りのあとの早朝に、町内の清掃を行いました。朝の清々しい時間に町内を丁寧に清掃しました。



10月

### 奈良薬師寺・大谷徹英氏の講演会

10月20日、下北半島活性化研究会講演会において、薬師寺の大谷氏から「生きる」とは何かというテーマで講演していただきました。2年次生は、12月、修学旅行で薬師寺へ行き大谷氏と再会しました。おみやげに「日々の言葉」という日めくりカレンダーを全員がいただきました。



### クラスマッチ

12月

12月22、23日の2日間、むつマエダアリーナでクラスマッチが開かれました。バレーボール、バスケットボール、ドッチボール、パドミントン、オセロが行われました。

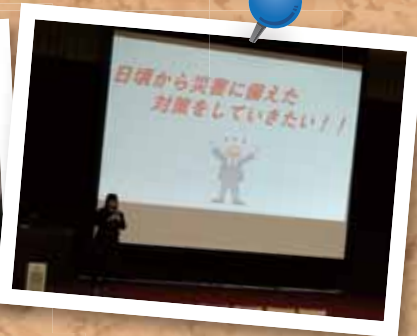
2日間ともに、外の天気とは違って変わり雪がとけるぐらいの熱戦が展開されました。



## 青森県総合学科発表会

令和4年12月26日 青森大学

県内の総合学科7校が参加し、「総合的な探究の時間」での取り組みや成果を発表しました。本校からは生徒30名が参加しました。33HR 菊池陽菜里さんが「被災地での医療ニーズを素早く把握し、命を守るには」と題して研究成果を発表しました。



## 高校生模擬議会

令和5年2月6日 青森県議会本会議場

令和5年2月6日、青森県議会本会議場にて、令和4年度の「高校生模擬議会」が、大湊高校、五所川原第一高校、八戸北高校の三校により開催されました。

本校から6名の生徒が、県議会議員や県担当部に政策提案を行いました。提案は「若者の地元定着を目指した、産官学連携による新しい街づくり」。具体的には、企業のサテライトオフィスや大学のサテライトキャンパス、商業施設や子育て支援施設を備えた大規模複合施設整備を中心に提案しました。様々な統計資料やデータをもとにした提案は説得力があり、高く評価されました。



## あとがき

今年度は、学校行事を参観していただく機会も増え、校内の活動を見ていただけるようになりました。PTAの活動も少しずつ再開され、挨拶運動や学年PTA、地区のPTA研修など、様々な面で皆様にご協力いただきました。行事等のたびに「何かお手伝いできることはありませんか。」とお声掛けいただき、多くの方に支えられていることに感謝しております。これからも保護者の皆様と一緒に、生徒の活躍を支えていけるよう努めたいと思います。

渉外部 野坂 繭子

